

正しい使い方と設置環境次第でナノレベルの振動を減衰

# RASK ナノレベル振動対応事例

## ラスク材効果検証

大手自動車部品メーカーでの検証・実験結果

## 【測定条件】

◇環境: シールドルーム内  
大気中(約23°C)

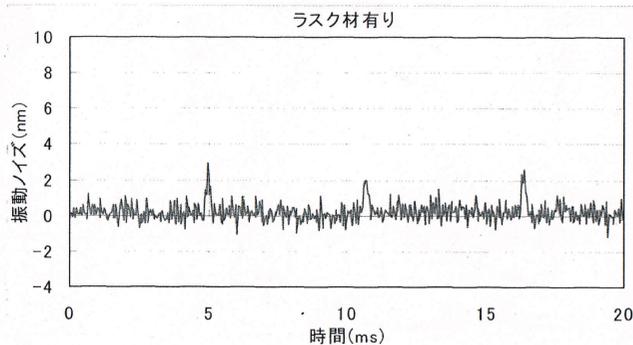
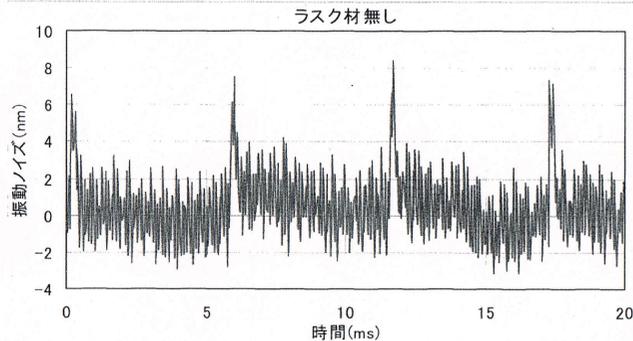
## ◇変位センサ

・センサTyp: QI製 NZC  
・測定レンジ: Short<100 μm GAP>  
・応答周波数: 50Hz  
◇オシロスコープ: テクトロ製 TDS  
Min10mV/div

## 【ラスク材】

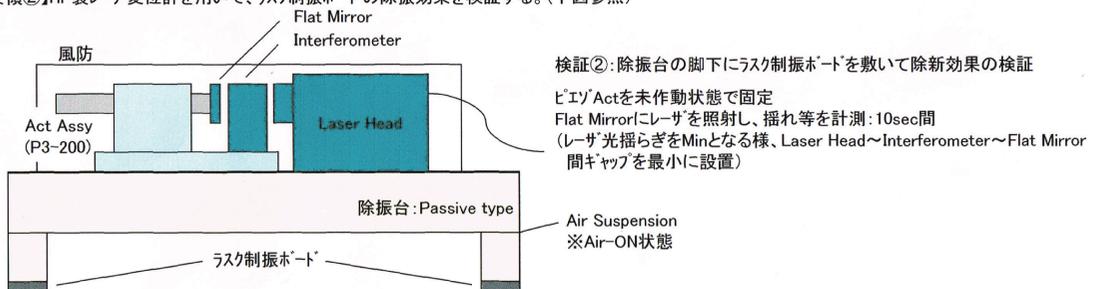
◇形状: 150mm×150mm×約t20mm  
3層構造

## 【測定結果】

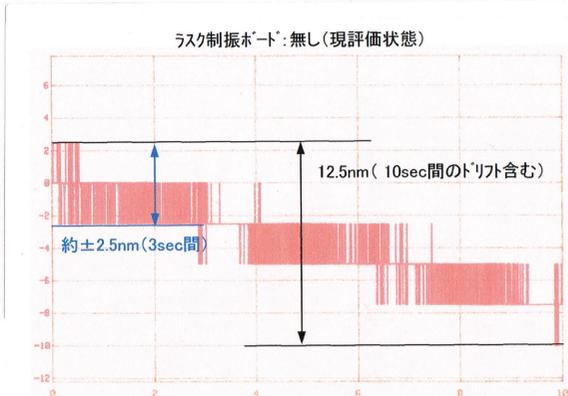
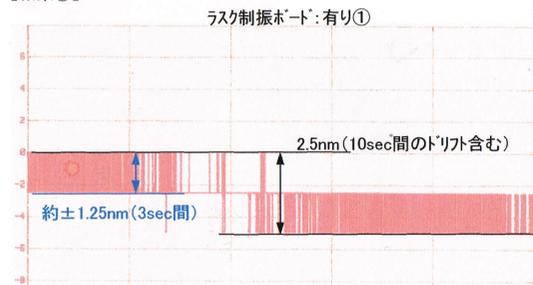


【結論②】 除振台脚下にラスク制振ボードを敷くことで現状より除振効果Upしたと見受けられる。

【要領②】HP製レーザ変位計を用いて、ラスク制振ボードの除振効果を検証する。(下図参照)



## 【結果②】



このように設置環境・使い方次第でナノレベルの振動も低減

RASKについての使い方・お問い合わせはこちら

お問い合わせ先 有限会社スイサク

大阪府堺市美原区小寺21-1

SUISAKU

TEL:072-363-3056 email: info@suisaku.co.jp